

らえるらえる

Well Well

第4号



おかげさまで4周年！まだまだこれから…。
引き続きよろしくお願ひします！

瑠実ちゃんのぼやき！

どうしてこんなに新薬が

遅いのでしょうか！？

坂井瑠実



透析生活の中で、みなさんも私たち医療スタッフも一番気を使っているのがリンのコントロール。おいしいものにはリンがいっぱい、食欲があつて幸せなんて言いながら好きに食事していると、骨がぼろぼろ、血管や心臓の弁膜などにカルシウムが沈着して、あわててPTX（皆さんの言う首の手術即ち副甲状腺摘出術）を行なわねばならないなど、合併症対策に苦慮しているのが最近の現状です。クリニックの開院の頃からカルシウム製剤（炭酸カルシウムやリンゴ酸カルシウム等）でないリン吸着剤、即ち血清カルシウムのあがらないリン吸着剤の“レナジェル”の発売を待ち続けているのですが、なかなか厚生労働省は許可を下ろしてくれない。もうこの秋には発売できまうと言っていた中外製薬も、来年春でしようかね。なんて有様。数年も前から使用しているアメリカでの実績があるので即座に輸入許可でも、新薬許可でも下ろしてくればよいのにと腹立たしく思っています。そうすれば身体によい乳製品をはじめタンパク質を減らす必要はなくなるのですから。昔はリン吸着剤としてアルミゲル（胃薬にはほとんどが入っている）を使ってきました。これは少量で確実にリンを下げる効果があります（何人かには服用してもらっています）。アルミ骨症やアルミ脳症が起こるからという理由で厚生省はこの薬を透析患者には禁忌薬としたために、かえって透析患者さんの合併症を一層複雑なものにしてしまっています。今一番問題なのは骨のこともさることながら血管、心臓のカルシウム沈着を主軸とする動脈硬化、炭酸泉浴が引く張りだこになる以前に動脈硬化の予防がどうしても必要です。今しばらくリンのコントロールにエネルギーを注いでください。

蛇足ながらリンゴ酸カルシウムは炭酸カルシウムに比べてカルシウムの上昇が少ない良いリン吸着剤ですが、保険適用になつていないので、クリニックからは出ません。炭酸カルシウム（カルタン）とだぶつてのむと高カルシウムの原因にもなりますので、必ず医師に相談してください。市販の漢方薬や腎友会が売っているいろいろなものと同じくその人に良い悪いがありますので相談して下さい。